

# 有機農業及び有機農産物等への理解醸成に向けて！

環境にやさしい農業とその農産物利用の拡大を図るため、有機農産物等取扱店舗マップの作成・配布や有機農業者と学生との交流など、理解醸成に資する活動を実施。

## ○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

## ○ きっかけ・背景、課題の把握

みどりの食料システム戦略の周知活動における具体的な取組内容を検討。当拠点では、環境にやさしい農業の取組面積の拡大を図るためには、有機食品市場の拡大、有機農産物等を購入しやすい環境整備などの出口戦略、消費者の理解醸成が重要であると判断し、それらに資する取組を行うこととした。

## ○ 取組の内容

取扱店舗の承諾を得て「環境にやさしい栽培方法で作られた農産物等の取扱店舗マップ」を作成し、パネル展や市町主催のイベントなどで広く配布するとともに、令和5年7月、農政局HPに掲載。

また、関心のある大学生（Z世代）を対象に有機農業者との意見交換や出張講座（ワークショップ（令和5年7月～11月））を開催。

## ○ 効果・成果、今後の方向性

パネル展でのアンケートや出張講座では「身近に販売店があることを知らなかった。機会があれば購入したい」、「環境負荷を低減し持続可能な農業を実現していくことは大切」といった意見が得られ、理解醸成の取組を引き続き実施していく。

今後、さらに消費者団体や食品事業者との意見交換などにより、食と農のつながりの深化に繋がる取組を行っていく。



取扱店舗マップ



消費者向けパネル展



有機農業者との意見交換



出張講座（ワークショップ）

## 体制図

